

① 「出世」

今月、年度が変わり人事異動などで出世をしたという方もいらっしゃるのではないのでしょうか。この出世という言葉、実は仏教用語です。本来は、仏さまがこの世界に現れることをいいます。

また、出世間ともいい、「世間から出る」つまり、修行をして仏道に入るという意味でも使われます。世間とは、この世の中のことを指すのは皆さまもお分かりかと思いますが、この世界は迷いの世界、悩み苦しみの世界です。この迷いから出ることが出世間。つまり、仏道に入ることです。

出世して部下ができ、仕事にも変化が訪れているころ、教え導く立場になったことに戸惑いを覚える人もいることでしょう。そのような時こそ、お釈迦さまの教えに触れる良い機会が巡ってきたと思い、仏教に親しんでいただきたいものです。

② 「卍」

不思議なことに、主に女子中・高校生の間で使われる言葉に、「マジ卍」ということを聞くようになりました。調べてみたところ、特に意味は無いそうです。いろいろな使い方をするようですが、「マジ卍」「卍からの卍」と、なんとなく良い時に使う、語呂合わせ的な、感情表現だそうです。

卍は、地図記号で寺院を表すように、仏教用語だというのはご存知の方が多いことでしょう。では、卍の意味は？と聞かれるといかがでしょうか。

実は、卍は、一説によると、インドの神様のヴィシュヌ神の胸にある旋毛に由来するとされています。それがとても良い印として、仏教などの宗教に取り入れられました。特に仏教では、仏像や絵画で現される仏様の胸・手足・頭に現れたクルクルした、旋毛が仏様の荘厳な特徴として図案化されて今の「卍」になったよう

です。卍は吉祥をあらわしており、とても良い印とされています。日本では、様々なところで卍が記号として用いられ、家紋などにも使用されています。神様や仏様の良い印として、図案化された卍。この卍が中高校生の流行として、良いことの感情表現に使われる、本当に不思議なことです。